

日本共産党浦安市後援会主催「新春の集い」盛況 いま、戦争か平和かが問われている 命、くらしを壊す大軍拡、大增税に反対し、 統一地方選挙で、岸田政権に審判を下そう

日本共産党浦安市後援会は1月29日、浦安市民プラザ Wave101 で「2023年新春のつどい」を開催、100名が参加しました。

「つどい」は、後援会の西川学さんの司会ですすめられ、主催者の後援会会長の森野卓郎さん、また、日本共産党市川浦安地区委委員長の桜井雅人さんがあいさつした後、後援会事務局長の真鍋章雄さんから後援会役員紹介と後援会の主な取り組みについて報告がありました。

山添拓 日本共産党参議院議員の記念講演

つづいて、日本共産党参議院議員の山添拓さんが「岸田内閣が進める軍備拡張政治ストップ、国民の命とくらしを守る政治に転換を」と題する記念講演を行いました。

山添さんは、「コロナ第8波で医療崩壊が深刻だ。医療体制が脆弱なまま置き去りで、感染拡大のたびに波が高くなっている。医療崩壊を繰り返す政治はもうやめよう」と訴えました。さらに岸田政権を「『異次元の暴走』だ」と批判し、「大軍拡や原発回帰を国会での議論もなく決めることは議会制民主主義を無視した暴論だ。安保3文書で専守防衛すら踏み外し集団的自衛権を行使すれば、相手国から反撃され、日本が戦争に巻き込まれる。軍拡反対の声を大きく上げよう」と強調しました。

山添さんは「統一地方選で地方から岸田政権に厳しい審判を下し政治の転換を」と強調し、共産党を大きくし勝利のため共にたたかおうと呼びかけました。

さいとう和子 衆院千葉5区補選予定候補の決意表明

さいとう和子衆院千葉5区補選予定候補は、「国民を苦しめる政治を根本から変える。新たな戦前にしない。平和と、希望がもてる政治にするため頑張る」と決意を表明しました。

みせ麻里 市議予定候補の決意表明

みせ麻里市議予定候補は、「『効率』名目の公共サービス切り捨てから、住民の切実な願い実現の市政にするために全力を尽くします」と述べ、市議選の共産党の重点政策とこの4年間で実現した主な実績を語り、「平和でなければ住民の福祉・くらしも守れません。戦争への道をひた走る岸田政権にも審判を下せるよう全力をあげたい」と決意を語りました。

山添さんへの質疑もあり、多くの方から手があがりました。高校生からも発言があり、会場は熱気にあふれました。最後に、後援会副会長の遠藤憲夫さんの音頭で、「団結頑張ろう」を合唱し終了しました。

(報告 七里一司)

